

【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】

観音竹



11月の目標
生活：読書にはげもう
保健：環境にやさしい生活をおくろう
安全：学習時の安全に心がけよう

令和3年 11月号
R3. 11. 4発行

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

学びの土台

校長 濱元 弘

運動会が終わり1か月経ちました。学校は後半の活動へと移っています。裏面の記事のように、学校行事は「○○の秋」がいっぱいです。皆さんは、○○に何を入れますか。秋のより深い青空を眺めながら、ゆっくり考える時間もいいなと思える季節です。

さて、子どもたちの活動は、社会科見学や生活科探検や宿泊学習と体験学習が目白押しです。子どもたちの様子を見てみると、ウキウキ、ワクワクいっぱいに出かけていきます。帰ってくる子どもたちに、「どうでしたか?」と聞くと、

「楽しかったです!」

と返事が返ってきます。この【楽しい】がとても大事だと考えています。実は、この【楽しい】にたどり着くまで、体験学習に出かけるまでの教室での学習がとても重要なのです。

なぜ? どうして?

このような探究心を大きくして、「調べたい」や「聞きたい」がたくさん湧いてくるように授業を進めます。頭の中に、体験から学ぶことを入れ込む引き出しを作っているようなものです。このような準備を整えて体験学習に出かけるから、学習効果が高まるのです。この体験学習に出かける前の授業は学校での取組です。

実は、授業の効果を高めるために、さらに重要なことがあります。これは、ご家庭でも取り組めるものだと思います。

- 今、何をする時なのか考え、行動することができる。
(声かけの例)「今、何をする時間かな?」
「今は、○○をする時間だよ。」
「どうしたらいいと思う?」

これができると、授業での学びが格段によくなります。担任している頃、よく子どもに投げかけた言葉です。子どもに自分を振り返らせ、考えさせ、行動を決定させる。この小さな何気ない取組が大きな成果につながっていくことでしょう。

